

「友好都市提携」と「防災協定」を締結しました

本町と東京都大田区

本町と東京都大田区は十一月五日、「友好都市提携」および「災害時における大田区と美郷町との相互応援に関する協定」(「防災協定」)を締結しました。

東京都大田区との交流は、同区に六郷という地名があることから、「六郷」つながりで旧六郷町との間で平成三年からスタート。以来、旧六郷町では大田区に出向いて物販交流を行い、大田区六郷からは子どもたちが雪国体験に訪れるなどの交流が毎年続いていました。今回「友好都市」の締結により、この交流をさらに深めていくものです。

害が発生し、独自では十分な応急対策等が実施できない場合に、相互に応援することにより、被災地域の応急対策等を円滑かつ迅速に実施することを目的としています。

主な応援内容は、▽食糧および飲料水の供給▽応急物資(生活必需品等)の供給▽応急対策等に要する職員の派遣及び資機材の提供▽被災者及び被災児童の一時受け入れなどとなっています。

なお、両協定の締結は、十一月五日に大田区平和島で開かれた「OTAふれあいフェスタ」で、松田町長をはじめ、町議会議長、副議長、商工会、観光協会、JAの関係者が出席して行われました。



▲協定書を手にした大田区長(左)と松田町長



▲「OTAふれあいフェスタ」では本町の物産展も行われました

苦楽を共にし 笑顔で迎えた50年

平成17年度金婚をお祝いする会

美郷町として初めての開催となる「金婚をお祝いする会」が十月二十五日、ふれあいセンターで開かれ、昭和三十年に婚姻届を提出されたご夫婦二十二組が出席されました。

会は、高砂の謡で始まり、出席者は厳かな雰囲気の中で三三九度の祝杯を上げるとともに、町からの讃詞と記念



▲町から讃詞と記念品が贈呈されました

品が松田町長から贈呈され、金婚を迎えた喜びを新たにしました。

松田町長は「結婚五十年は何ものにも代えがたいすばらしいことであり、皆さんに敬意を表したい。今後も健康にさらに留意し、美郷町の発展のためにご教示をお願いしたい」とあいさつ。

出席者を代表して石田廣三三さん(六郷東根)が「五十年を振り返るとあつという間で、喜びや悲しみが走馬灯のように思い出される。夫婦元気にこの日を迎えることができたのは、町と地域の皆さんののおかげ」と謝辞を述べられました。

また、祝宴では、出席者が飛び入りで歌や踊りを披露するなど、大いに盛り上がりました。



▲三三九度の祝杯を上げる出席者

あなたの「声」
を町長に直接
伝えませんか

12月のふれあい談話室

期 日	時 間	場 所
12月7日(水)	午後5時～ 午後6時30分	役場六郷庁舎2階 町長室
12月8日(木)		役場千畑庁舎1階 応接室(元町長室)
12月20日(火)		役場仙南庁舎2階 応接室(元村長室)

町長が各庁舎に出向き、来庁された町民の皆さんから町政へのご意見やご要望を直接お伺いします。

個人でも団体でも、どんなささいなことでも構いませんので、お気軽にお立ち寄りいただき、町長へ直接お話しください。



役場(六郷庁舎)町長公室 秘書広報班 ☎84-4900(内線1226)

町長が週1日
役場千畑庁舎
と仙南庁舎で
執務

移動町長室

曜 日	時 間	場 所
毎週火曜日	午前9時～ 午後3時	役場仙南庁舎
毎週木曜日		役場千畑庁舎

町長が毎週1日、役場千畑庁舎と仙南庁舎で執務していますので、ご用のある方はお立ち寄りください。

なお、会議への出席などにより、不在の場合や実施できない場合があります。

今年もあつという間に師走です。改めて時の流れの速さを実感しますが、左巻の皆さんには「待ってました」の月です。あちらこちらで相好を崩す機会があるものと思えますが、是非とも忘年会は地域のため、地元のお店で地元の清酒を飲んで盛り上がり上げてもらいたいと思います。また町内会や集落においては、地域の「絆」を確認する意味でこの一年を、そして地域の将来を大いに語り合ってもらいたいと思います。

さて、その際、どうか今後の行政区のことも話題にしてもらいたいと思います。行政区は旧町村ごとに役割や数に違いがあり、いずれ調整が必要である旨をかねてより話してまいりましたが、これまでの様々な検討を踏まえ、具体の調整に入らなければならぬ段階になりました。

現在の行政区は、千畑地区は二十九行政区、六郷地区は四十二行政区、仙南地区は七十二行政区となっております。これまでの経緯などから、町からの依頼事項や取り組み状況にも違いがあり、それに伴う報酬や補助内容も違う状況です。町としては、行政区は住民自治の基礎的な単位ですので、美郷の均衡ある発展に向けて同質の役割を担ってもらいたい。そして支援内容は同等としなければならぬ。さらに、少子高齢化の状況や行政効率の向上等を考慮すると、世帯の少ない行政区や連担している行政区などは、望ましい姿勢としての統合再編を検討してもらいたいことが必要ではないかと考えているところ です。

こうしたことを皆さんと共通理解で進めていきたいため、まずは近々行政協力員の方々に町の考え方を説明し、様々なご意見をいただく機会を設ける予定です。そのため、どうか皆さんにも、折に触れて「時にはお酒を飲みながら」今後の行政区の姿を語り合ってもらいたい訳です。

結婚は、育ち方や性格の違いが生活様式や価値観の違いとなり、それを一つにするのに一定の努力が必要です。行政区の例をとってみても、やはり町村合併は「結婚」です。良き努力を皆さんで重ねましょう。

風

美郷町長 松田 知己



「礎の調整」

写真

10月29日に開かれた「美郷フェスタ2005」のオープニングセレモニーであいさつする松田町長